

交

い

かいじあむ通信
kai

山梨県立博物館

Yamanashi Prefectural Museum

第54号

2021年8月30日発行
山梨県立博物館

日蓮聖人像(波木井の御影)
(部分)
久遠寺蔵





法華經の聖地 身延山

2年半におよぶ佐渡流刑が赦された後、日蓮が辿り着いた身延山。亡くなるまでの9年間を過ごした“法華經の聖地”をご紹介します。

東

本堂域

11世日朝の時に伽藍をこの地に移しました。久遠寺の中心となるところで、本堂・祖師堂などが建ち並んでいます。

総門

身延山の入口。近くには波木井実長が日蓮を迎えた「逢嶋の遺跡」があります。

門前町

総門から三門の間には、門前町としてさまざまなお店が並び、参詣する人をもてなします。

菩提梯

二七七段の“悟りに至る”階段。お題目である「南無妙法蓮華經」になぞらえ、7つの区画に分かれています。

御廟所域

日蓮が過ごした「御草庵跡」や、日蓮の墓所である「御廟所」などがあり、かつてはここが久遠寺の中心地でした。

東谷

本堂の東西には宿坊が並び、参詣する人々が宿泊しました。また西谷には身延山の僧侶養成学校「西谷檀林」がありました。

西谷

御廟所域

日蓮が過ごした「御草庵跡」や、日蓮の墓所である「御廟所」などがあり、かつてはここが久遠寺の中心地でした。

奥の院

境内には日蓮が植えたと思われる4本の杉の木があり、それぞれ「母、父、恩師、立正安国」への想いが込められています。

七面山

妙石坊く七面山

高座石（現妙石坊）で日蓮の説法を七面天女が聞きに来て、身延山の守護神になったという伝説が残っています。

五重塔

現在とは違い、上の山という場所にありました。

本堂域

東谷

門前町

日蓮聖人と

生誕八〇〇年・佐渡入国七五〇年記念

法華文化

2021年10月2日土 ~ 11月23日火祝

日蓮生誕800年を記念し生涯を振り返るとともに、法華經の信仰と文化を紹介します。

学芸員 おすすめの一品

収蔵資料の見どころを
ご紹介します。



特徴的なフォント!

こうしゅうぶん こへんがく
甲州文庫扁額 なかむらふせつ 中村不折作 昭和5年(1930)木製

山梨の歴史を知るうえで、なくてはならない重要な資料群である「甲州文庫」の看板です。「甲州文庫」は南アルプス市出身の功刀亀内氏が収集したもので、功刀氏は、この看板を「甲州文庫」を収めた書齋に掲げていたようです。2021年は、「甲州文庫」が山梨県に譲渡されてから70周年を迎えます。



書齋に掲げられた「甲州文庫」扁額

2021年 10月20日～12月13日
常設展「道がつなぐ出会い」コーナー

この期間に会える!

移管 70周年

甲州文庫って?

甲州文庫は古文書だけでなく、甲州金や甲州栴^{ます}などの物品や、錦絵などの絵画資料など幅広いジャンルを持つ総数2万点以上のコレクションです。

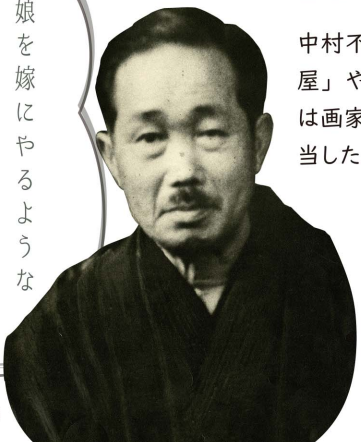


どこかで見たことがある書体(フォント)だ

中村不折という東京出身の書家書いたもので、「新宿中村屋」や「神州一味噌」などのロゴにも使われています。中村は画家としても活躍しており、「吾輩は猫である」の挿絵を担当したことで知られています。

どうして山梨県に

戦災で多くの古い資料が失われたなかで、戦後に催された郷土歴史展に出展された「甲州文庫」に感激した山梨の人々が、功刀氏に同文庫を山梨へ譲っていただけるようお願いしたからです。



娘を嫁にやるような
気持ちです

功刀亀内
(部分、当館蔵)

甲府県から山梨県へ

甲府県・山梨県関係資料

19世紀(明治時代)

2021年は山梨県が生まれて150周年となる節目の年です。明治4年(1871)11月20日に、それまでの「甲府県」から「山梨県」に名前が変更されました。

2021年 10月20日～12月13日

常設展「変貌する景観」コーナー

この期間に

会える!

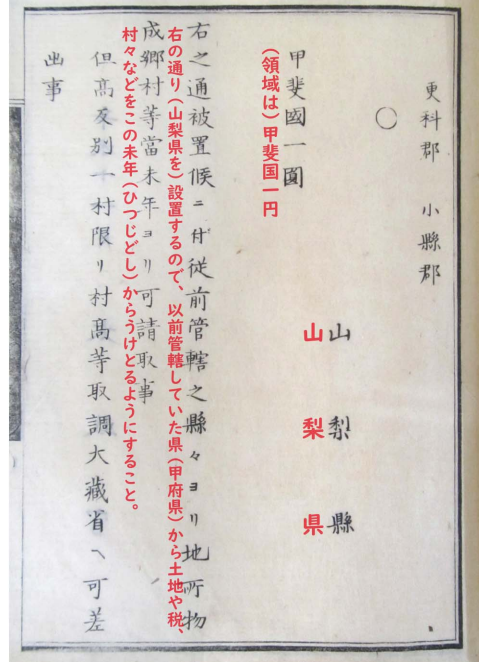
甲府県→山梨県のナゾ!?

明治維新のあと、もともと幕府の領地だった甲斐国は、甲斐府などと呼ばれた時期を経て、明治2年(1869)に県庁所在地から名前を採って「甲府県」になります。明治4年に多くの大名が治めていた藩を県に改める「廃藩置県」が全国的に行われますが、この年に甲府県から県庁所在地のある郡の名前である「山梨」を採って「山梨県」と改めることになりました。しかし、どうしてこのような改名をしたのか、その理由は分かっていません。(※当時は山梨郡、明治11年からは西山梨郡が甲府の所属する郡となりました。)

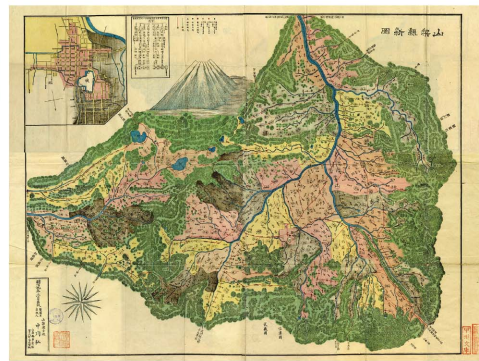
置県 150周年

根付いていく地域の名前

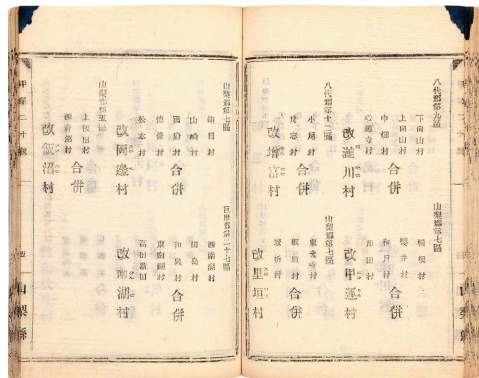
「山梨県」になったばかりの頃は、多くの人々がその名前に馴染めなかったといわれています。変わったのは県の名前ばかりでなく、当時の多くの村々が合併にあたって新しい名前を付けることになりました。地域の自然や人々の希望、時にはそれぞれの地域から一文字ずつって組み合わせを試みたり(例: さかおり+とうこうじ+坂垣=さとがき<里垣>村)。地域の名前には多くの人々の思いや歴史が刻まれているといえます。山梨県150歳の年に、みなさんの地域の歴史も振り返ってみてください。



置県布告(当館蔵)



山梨県新図(当館蔵)



山梨県町村合併改称(当館蔵)

常設展 テーマ展示

県立博物館では、約2か月ごとにテーマを変えて、常設展の展示替えをしています。



「やまなしの人々と山」

2021.8.18[水]~10.18[月]

2021年は恩賜林成立110年にあたります。山梨の山と人々との関わりなどを紹介します。

「素晴らしき甲州文庫の世界 — 県移管70周年記念 —」

2021.10.20[水]~12.13[月]

「甲州文庫」が山梨県に移管されて70周年を迎えることから、あらためてその魅力に迫ります。

「招福! かいじあむのお正月」

2021.12.15[水]~2022.2.14[月]

お正月にちなみ、「めでたい」「ありがたい」資料を取り揃えます。年の初めは博物館で招福!

「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

2022.2.16[水]~4.18[月]

桜舞う春の中、山梨ゆかりの戦国武将、武田信玄にまつわる資料を紹介します。

2021年度 企画展 シンボル展

企画展 日蓮聖人と法華文化

2021.10.2[土]~11.23[火・祝]

鎌倉仏教を代表する僧侶の1人である日蓮は、貞応元年(1222)に安房国小湊(千葉県鴨川市)で誕生しました。建長5年(1253)に法華経の教えを広める布教活動に邁進し、文永11年(1274)には甲斐国身延山(身延町)に入り、現在の身延山久遠寺の礎を築きます。今年は日蓮生誕800年という記念の年にあたります。この機会に、あらためて日蓮の生涯を振り返り、現在にまで伝えられた法華経の信仰とその文化を紹介します。



日蓮上人石和河にて鶴飼の迷魂を済度したまふ図(通妙寺蔵)

シンボル展 曾我物語図屏風

2022.1.22[土]~2.21[月]

建久4年(1193)、源頼朝が富士の裾野で巻狩を行った際、曾我十郎祐成・五郎時致兄弟は父の仇を討ち本懐を遂げました。この出来事は謡曲や浄瑠璃、歌舞伎など多く芸能の題材となり、長く語り継がれています。本展では当館所蔵の「曾我物語図屏風」を中心に、曾我兄弟の仇討ちについて紹介します。



曾我物語図屏風(右隻)(当館蔵)

企画展 伝える—災害の記憶展

あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料

2022.3.11[金]~5.9[月]

「あいおいニッセイ同和損保災害資料」は、同社創設者の1人である廣瀬鉦太郎氏が収集した資料群で、全国で発生した様々な災害に関わる内容は、重要な災害関係資料群のひとつと評価されています。東日本大震災から約10年、さらに新型コロナウイルス感染症という災いと向き合う最中にある今、「災害に向き合ってきた日本人」についてあらためて考えます。



絵巻 あら嬉し大安日にゆり直す(あいおいニッセイ同和損害保険蔵)

イベントのご案内 2021.10月~2022.3月

土 常設展スルーガイド 先着10名

常設展のガイドツアーです。
毎週土曜日 11:00~11:30

● ボランティアによる お庭の見どころガイド

四季折々の博物館のお庭を散策します。先着10名
開催日 10/16、11/27、12/18、1/15、2/19、3/19
時間 13:30~14:30 *荒天の場合は中止

● かいじあむ古文書講座【3期】

初めて古文書を学ぶ方のための講座です。定員30名(抽選) 申込:往復はがき
開催日(全3回) 11/27、1/22、2/26
時間 13:30~15:00
*原則として全3回参加できる方。申込:往復はがき(11月5日必着)

● 古文書相談日

お手持ちの古文書についてご相談ください。
開催日 未定(日程が決まり次第、ホームページ等でお知らせします)
*古文書の全文解読、鑑定など、お受けできない内容もあります。

日 あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 先着6名

展示や歴史を楽しみながら学べる体験イベントです。
毎週日曜日 11:00~11:30

● かいじあむ子ども工房 申込:電話

博物館ならではの体験や工作ができます。
開催日 10/9、11/13、1/8、2/12、3/12
*申込:電話 ☎ 055-261-2631 開催日の1か月前から受付

● 館長トーク【後期】 定員30名(抽選) 申込:往復はがき

当館の守屋正彦館長による講座です。定員30名(抽選) 申込:往復はがき
開催日(全3回) 10/17、12/19、2/20
時間 13:30~15:00
*原則として全3回参加できる方。申込:往復はがき(9月24日必着)

□ その他イベント

・かいじあむの秋まつり 11/20
・かいじあむのお正月 1/2・3

往復はがきでの申込方法 下記をご記入の上、申込締切日(必着)までに当館までお送りください。

- (1) 往信 表:当館郵便番号(406-0801)、住所(山梨県笛吹市御坂町成田1501-1)、館名(山梨県立博物館)
- (2) 返信 表:①郵便番号、②住所、③氏名
- (3) 往信 裏:①イベント名(必ずご記入ください)、②郵便番号、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤電話番号

2021年

10月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

日蓮聖人と法華文化 10/2 ~ 11/23

11月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

休館日

- 館長トーク
- 古文書講座
- 古文書相談日
- 子ども工房
- お庭の見どころガイド
- その他イベント

各イベントの詳細は当館ホームページなどでご確認ください。
日程や内容は事情により変更になることがあります。

2022年

1月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 | | | | | |

曾我物語図屏風 1/22 ~ 2/21

2月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | | | | | |

3月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

伝える—災害の記憶展 3/11 ~ 5/9

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示・イベント等の日程が変更または中止になる場合があります。

かいじあむトピックス



山梨県立博物館の旬な
話題をお届けします

博物館実習

山梨県立博物館では、学芸員資格の取得を目指している学生などを対象に、毎年8月中旬に博物館実習を受け入れています。博物館実習とは、博物館や美術館などで、学芸員の仕事を実際に体験し、幅広い学芸業務の実践的な経験を現場で積む実習のことです。当館では、博物館の役割・使命をはじめ、事業・運営・サービスに関する講義のほか、企画交流事業についての体験、そして学芸員の調査研究・展示・資料保存など、分野別の講義・実習に取り組んでいただきます。最終的には、実習生自ら展示計画を立て、資料を展示するところまで行う、当館ならではの実習プログラムを組んでいます。

新型コロナウイルス感染症が拡大するなかではありますが、当館は感染防止対策を十分に行った上で、実習生を受け入れています。学芸員を目指す学生たちに、博物館活動を実際に経験してもらうことで、学芸員としての基礎的な知識や技術、心構えなどを身につける機会になることを目指しています。



今年度の博物館実習の様子

利用案内

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)

***9/15～17、12/11、12/25～1/1、1/12～14は休館。**

観覧料 常設展:一般520円、大学生220円

*高校生以下の方、65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料です。

*企画展には別途観覧料が必要です。県外在住の65歳以上の方は企画展観覧料が必要です。

***ご来館の際は、検温、マスクの着用などの感染拡大防止対策にご協力ください。**

かいじあむ通信「交い」第54号

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

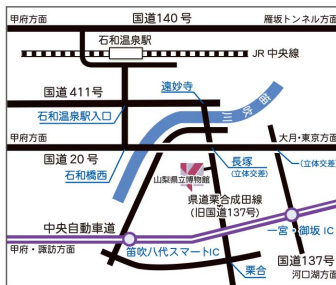
Tel:055-261-2631 Fax:055-261-2632

E-mail:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp

URL:http://www.museum.pref.yamanashi.jp

発行日:2021年8月30日

編集・発行:山梨県立博物館



山梨県立博物館
公式 Twitter
kaiseum_ypm



ホームページ2次元コード

交い

山梨県の古い国名「甲斐国」の語源は街道と街道の結節点を意味する「交ひ(かい)」であるという説があります。山梨県立博物館が「甲斐」の博物館にふさわしく、人々や情報の交流の拠点となることを願ってこの名前をつけました。